

精神保健の課題と支援

問題 11 2012年(平成24年)8月に見直しが行われた「自殺総合対策大綱」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 地方公共団体は、「自殺総合対策大綱」で示されている重点施策に関して、網羅的に取り組まなくてはならないとしている。
- 2 自殺発生後の遺された人への支援においては、個別心理療法の提供を最も優先している。
- 3 2007年(平成19年)に「自殺総合対策大綱」が策定された後も、高齢者の自殺死亡率は一貫して上昇を続けており、新たな対策を求めている。
- 4 選択的予防介入とは、自殺行動のリスクの高い人々を集団としてとらえ、その集団を対象とする対策のことである。
- 5 都道府県に、自殺の要因となり得る生活困窮、児童虐待、性暴力被害等の支援をワンストップで行う支援機関の設置を求めている。

問題 12 災害や事故で家族を突然亡くした遺族に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 遺族が悲しみから立ち直るのを助けるケアが、緩和ケアである。
- 2 遺族の悲嘆反応には、身体症状を含む。
- 3 死別直後に遺族が悲しみなどの感情を表出しないときは、医学的介入が必要である。
- 4 遺族が自助グループで自分の話を聞いてもらうことは、不適切な援助である。
- 5 遺族への支援を続けるうちに、支援者が自らの心に傷を受けることを、フラッシュバックという。

問題 13 地域障害者職業センターで実施している「リワーク支援事業」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 利用対象は、精神障害者保健福祉手帳の所持者に限られる。
- 2 リワーク支援は、実施期間を定めることなく行われる。
- 3 復帰しようとする職場の雇用事業主に対する援助を行うこととしている。
- 4 利用者は、職場に知られることなく支援を受けられる。
- 5 ジョブコーチによる雇用促進支援を行うこととしている。

問題 14 犯罪被害者等基本法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 犯罪被害者等とは、犯罪被害者とその家族であり、遺族を除くとしている。
- 2 法の基本理念は、犯罪被害者等の尊厳を守る、状況に応じた支援、社会復帰の3つである。
- 3 施策の対象は、被害を受けた事件についての捜査及び公判が終わった被害者である。
- 4 施策の一つとして、犯罪被害者等の居住の安定について定めている。
- 5 法務省内に被害者支援ネットワークを設置することを定めている。

問題 15 性同一性障害に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 「性同一性障害特例法」では、15歳以上の性同一性障害者が、性別取扱い変更の審判を請求できると定められている。
- 2 MTF (male to female)とは、生物学的な性別は女性であるが、心理的には男性であるものをいう。
- 3 治療においては、ホルモン療法や手術療法を行う前に、望みの性別で可能な限りの社会生活を送る「実生活経験」を行うことが推奨される。
- 4 「診断と治療のガイドライン」において、性別適合手術は、年齢を問わず適応される。
- 5 中学校の保健体育の学習指導要領には、性同一性障害に関する対応方法が記載されている。

(注) 1 「性同一性障害特例法」とは、「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」のことである。

2 「診断と治療のガイドライン」とは、「性同一性障害に関する診断と治療のガイドライン(第4版)」(日本精神神経学会)のことである。

問題 16 認知症高齢者の支援に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 認知症疾患医療センターは、国が設置する高度専門医療研究センターである。
- 2 認知症地域支援推進員は、市町村において医療機関・介護サービス事業所などをつなぐコーディネーターである。
- 3 認知症サポーターキャラバンは、認知症高齢者支援について高い専門性を有する福祉職を養成する事業である。
- 4 レスパイトケアは、認知症高齢者が家庭を離れて休息するための方法である。
- 5 認知症サポート医は、認知症高齢者を身近で支える、かかりつけ医のことである。

問題 17 「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ひきこもりの支援は、背景にある精神障害に対する特異的な支援、思春期の自立過程の挫折に対する支援の2つで構成される。
- 2 ひきこもりとは、様々な要因の結果として社会的参加を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態を指す。
- 3 義務教育課程で不登校を経験した者の約7割が、青年期のひきこもりに移行する。
- 4 地域若者サポートステーションは、アウトリーチによるひきこもり支援を行う医療機関である。
- 5 ひきこもりの準備段階では、本人の激しい葛藤が顕在化し、家庭への暴力行動が頻回に認められる。

(注) 「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」とは、厚生労働科学研究「思春期のひきこもりをもたらす精神科疾患の実態把握と精神医学的治療・援助システムの構築に関する研究(平成19年度～21年度)」において、とりまとめられたものである。

問題 18 「精神保健福祉資料(平成23年度)」による、精神科病院に新たに入院した患者とその動態に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害が、半数以上である。
- 2 40歳未満の患者が、半数以上である。
- 3 1年後も入院が継続していた患者の半数以上は、65歳以上である。
- 4 1年後も入院が継続していた患者の半数以上は、認知症である。
- 5 入院して6か月後も、半数以上が継続して入院している。

(注) 「精神保健福祉資料」とは、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課が、毎年6月30日付で都道府県・政令指定都市に報告を依頼している調査のことである。

問題 19 法規とその内容に関する次の組み合わせのうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 覚せい剤取締法 ————— 違法ドラッグ
- 2 労働安全衛生法 ————— 労働条件の決定又は変更
- 3 医療観察法 ————— 家庭裁判所
- 4 酔っぱらい防止法 ——— DPAT(災害派遣精神医療チーム)
- 5 警察官職務執行法 ——— 精神錯乱又は泥酔

(注) 1 「医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」のことである。

2 「酔っぱらい防止法」とは、「酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律」のことである。

問題 20 精神保健に関連する民間団体とその活動に関する次の組み合わせのうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 生活の発見会 ————— 神経症当事者の自助活動
- 2 ACODA (Adult Children of Dysfunctional Families Anonymous) — 摂食障害当事者の自助活動
- 3 全国精神保健福祉会(みんなねっと) ——— 統合失調症当事者の自助活動
- 4 えじそんくらぶ ————— 認知症当事者の自助活動
- 5 ダルク(DARC) ————— 薬物依存症の家族の自助活動